

「松ヶ崎小学校・米ノ庄小学校 再編活性化 意見聴取会」 議事録（要点筆記）
（松ヶ崎小学校）

日時：令和6年8月1日（木）19:00～20:05

場所：松ヶ崎小学校 体育館

出席者：

【地域住民・保護者】42人

【学校関係者】3人

【教育委員会】教育長 中田雅喜

事務局長 刀根和宜

事務局次長 金谷勝弘

教育総務課長 西浦有一

教育総務課 学校活性化推進室長 北畠和幸

教育総務課 学校活性化推進室主幹 清水尚美

教育総務課 学校活性化推進室主任 地主博一

学校マネジメントコーディネーター 田中伸之

挨拶：教育長

本日は、お集まりいただきありがとうございます。

これまで、各地域で意見聴取会を開催させていただきましたが、地域の方が看板を作っていたのは初めてです。少人数でありながらも、松ヶ崎小学校でしっかりと教育活動がなされているのは、地域の皆様の思い、活動に支えられていることを改めて実感しました。

これからは、先が読めない時代、今の価値観が通用しない時代と言われています。そして、そのような時代を生きる子どもたちには、地域に出かけたり、地域の課題を見つけたり、それを解決したりするような学びが必要だと言われています。

子どもたちの学ぶ環境を作るのは、大人の責任です。これまで、地域に何度も足を運んだり、様々な方に入っていただいたりして、丁寧に議論を進めてきました。これからも教育委員会が決めるのではなく、保護者や地域の皆様のご意見をしっかりと踏まえて、方向性を決めていきたいと思います。

本日は、忌憚のないご意見をいただければと思っています。

教育委員会自己紹介

資料説明：事務局

資料『松ヶ崎小学校・米ノ庄小学校 再編活性化に関わる意見聴取会』

（4ページ）

・全国的に児童生徒数が減少していることから、平成26年度に「公立小学校・中学校の適正規模・適

正配置に関する手引」(文部科学省)が策定された。

- ・松阪市教育委員会では、令和2年度に検討委員会を立ち上げ、外部の委員による検討を12回重ね、令和5年3月に「松阪市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」を策定した。

(2・3ページ)

- ・松阪市では、4人グループ5つで議論を深められるなどの理由から、「最低限確保したい学校規模」を1学級20人程度とした。

- ・松ヶ崎小学校は複式学級を有することから、対象校である。

(4ページ)

- ・令和5年度、松ヶ崎小学校において、学校との関わりが深い方々から意見交換を開始した。

- ・松ヶ崎住民自治協議会から「保護者の意見を尊重していく必要がある。」とのご意見をいただいた。それを受けて、保護者を中心に協議を行い、「米ノ庄小学校と統合する方向で協議を進めていく。」との結論に至った。

- ・今年度に入り、米ノ庄小学校に関わりが深い方々へのご説明を開始した。

(5ページ)

- ・子どもたちの学びを最優先にして、両地域の皆様からご意見をいただきたい。

- ・今年度より、米ノ庄小学校・三雲中学校が「リーディングDX」(文部科学省)の指定を受け、タブレット端末を活用した先進的な取組を進めていく。松ヶ崎小学校、天白小学校、鵠小学校、小野江小学校が協力校。

(6ページ)

- ・令和6年7月17日に「松ヶ崎小学校・米ノ庄小学校学校活性化協議会」が立ち上がった。

- ・学校活性化協議会内に設置する準備部会は、地域・学校運営協議会・保護者・学校の代表者で委員を構成する。検討内容としては、校名・校歌・カリキュラム・学校行事・学校予算・学校備品・通学路・スクールバス・放課後児童クラブ・コミュニティ・スクール・PTA組織などがある。

- ・協議内容を、『学校活性化協議会だより』の各戸配布や、市ホームページで周知を図る。

(7ページ)

- ・松ヶ崎の地域や保護者の方々が、特に関心の高かったものを挙げた。

- ・「児童の環境変化への対応」として、松ヶ崎小学校の教員を、米ノ庄小学校に移動させることも考えられる。

- ・スクールバスの運行方法などの詳細は、準備部会で検討していく。

本日は、「子どもたちのより良い教育環境の実現」の観点から、皆様のご意見をお聴かせください。

質疑応答

参加者

自分の娘は、9人学級の中で女子1人。(統合校で)男女比が大きくズレた際には、どうしていくのか。

教育長

男女比をコントロールすることはできません。例えば、女子が1人だからという理由で、転校するこ

とはできません。

今、男女という性差をもとに、教育が進められていくことはありません。1人の個性ある人間として、どんな力を身に付けさせるのか、ということに重きを置いています。

ただ、カウンセラーの活用、QIやアンケートの活用、担任の声掛けなど、丁寧に見ていくことは必要だと考えています。

参加者

準備部会は、PTAから「集まりましょう。」と声を掛けるのか。

事務局

教育委員会からご案内をさせていただきます。

準備部会の委員になられた方が、PTA代表として意見を言っていたくのが難しい場合には、各校のPTAで集まっていたく必要が出てくる可能性はあります。

参加者

自分の子どもは、統合時に4年生と6年生になる。両学年とも2クラスになる予定だが、松ヶ崎小学校の子どもたちはどのように振り分けられるのか。

教育長

例えば、(規模の小さな学校の)6年生が中学校へ進学する際には、小学校の先生と中学校の先生が十分に話し合っ、子どもたちの状況に合わせて、均等にクラス分けをする場合もあれば、全員を一緒のクラスにする場合もあります。

松ヶ崎小学校の子どもたちが、統合校でしっかりと活動できるように、学校間でしっかりと議論してもらいます。また、統合後も子どもたちをしっかりと見ていけるよう、教員の加配を県へ要望していきたいと思います。

今週月曜日に米ノ庄小学校で開催した意見聴取会において、参加者から「米ノ庄の皆さんが、松ヶ崎の皆さんの思いや痛みを理解しながら、円滑に協議を進めていく必要がある。」という発言がありました。

例えば、米ノ庄小学校の子どもたちには、道徳の授業を中心に「どんな気持ちで松ヶ崎小学校の子どもたちと接するのか。」について考えるなどしてほしいと思います。

参加者

先日開催された米ノ庄コミュニティセンターの水風船大会に、子ども2人が参加させてもらった。松ヶ崎小学校の友だちを誘ったが、ちょうど学童のプールの日だったので、皆参加できなかった。せっかく企画していただいたのに、松ヶ崎小学校の参加者が少なかった。

教育委員会では、日程を把握していたのか。

今後、交流会をしていただく場合には、もう少し予定を確認していただきたいと思う。

事務局

今回の企画は、米ノ庄コミュニティセンターが独自で開催していただいたものですので、教育委員会

は直前まで把握していませんでした。

米ノ庄コミュニティセンターの方も、松ヶ崎小学校の保護者の方から「せっかく企画していただいたのに、参加できずに申し訳ない。」というお電話いただいて、初めて事情を知られたそうです。「次は気を付けたい。」と反省をしてみえました。

教育委員会としては、米ノ庄コミュニティセンターの方々のご尽力にも、松ヶ崎小学校の保護者の方からの電話にも頭が下がる思いです。そして、前向きに考えていただいていることを大変有難く思います。

参加者

先日、松ヶ崎小学校1・2年生と米ノ庄小学校2年生の交流学习をしていただいた。ただ、米ノ庄小学校は2年生だけだったので、息子は保育園の時の友だちに会えなかったようであった。

統合するのであれば、同学年同士で交流してほしいと思う。

学校長（松ヶ崎小学校）

米ノ庄小学校と相談する中で、「まずは6、7月にプールで交流しよう。」となりました。ただ、米ノ庄小学校が学年毎にプールに入っているので、バスが使える日も含めて調整するのは難しく、今回のような形になってしまいました。

夏休み以降、同学年での交流を予定しています。

教育長

交流を進める上でタクシー等が必要な場合には、教育委員会も支援をしていきます。

参加者

娘が特別支援学級に在籍していて、統合時に6年生になる。病弱学級があるのかどうかなど、米ノ庄小学校の特別支援学級の様子を、分かる範囲で教えてほしい。

教育長

統合後も、既存の学級が維持できるように、県に対して働きかけをしていきたいと思います。

特別支援学級在籍の子どもたちが安心して学校生活が送れるよう、統合校のアシスタントは充実させていきたいと思います。

参加者

松ヶ崎小学校の先生は、統合校と一緒にいけるのか。

教育長

教員の数には法律で決められていますので、松ヶ崎小学校の先生が、全員統合校に配置されることはありません。松ヶ崎小学校から統合校に行ける先生数は、2、3人程度になるのではないかと思います。

両校の学校長ともしっかり議論していきたいと思います。

参加者

統合校において、令和8年度の特別支援学級が「2学級7人」となっているが、どうやって決まるのか。

教育長

特別支援学級数は、種別と人数で決まります。

司会

ご意見がございましたら、学校または教育委員会にご連絡ください。

挨拶：教育長

刀根旭さんには、本日の看板を作っていただいたり、毎朝鯉のお世話をしていただいたりしていることに感謝申し上げます。

先日、ある学校で登下校の見守りボランティアを20年間してみえる方のお話を聞きました。

ある子どもが、結婚して奥さんを連れて会いに来てくれたそうです。当時、その子が学校に行きたくない時、ボランティアの方に「おはよう。」と言ってもらったことが嬉しかった、という話をしてくれました。子どもたちは、地域の方との人間的な触れ合いの中で、生きていく上で大切な何かを教えられているのではないかと思います。

それは、教育の原点なのかもしれません。

仮に統合の話が進んで、この地域から学校が無くなるかもしれませんが、この地域に子どもたちはいますので、地域の皆様には今までと変わらないご支援をいただけたら、大変有難いと思います。

そして、統合校において地域に根差した教育が行わるよう、教育委員会としてもしっかり支援していきたいと思います。

本日はありがとうございました。